

東京都建設リサイクル推進計画

東京都 都市整備局
都市づくり政策部 広域調整課

計画策定の背景と目的

背景

- 社会資本の整備等に伴う副産物が毎年大量に発生
- オリンピック・パラリンピック関連工事や大規模工事が予定
- 高度経済成長期に建設された社会資本の更新時期
- 一方で、今後新たな最終処分場の確保は極めて困難

課題

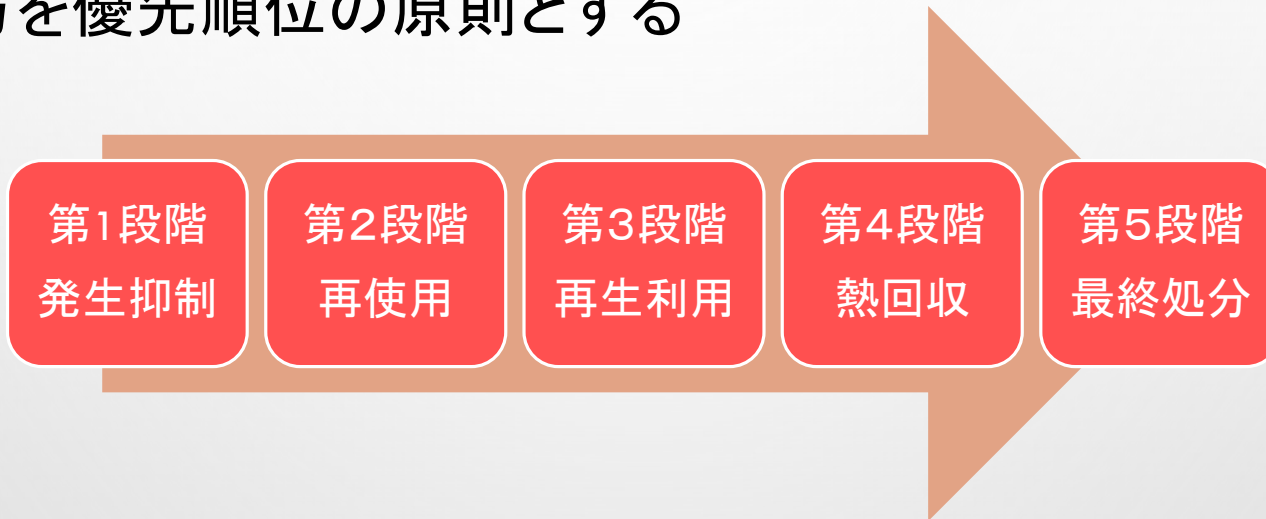
- 建設副産物の発生抑制、再使用、再資源化・縮減、有効利用について計画的かつ組織的な取組が必要

目的

- 建設資源循環に係る全ての関係者が一丸となって、計画的かつ統一的な取組を推進するために、東京都建設リサイクル推進計画を策定する

建設資源循環の優先順位

- 循環型社会形成推進基本法における基本的な考え方を優先順位の原則とする



計画の目標等

目標年度

■ 下記年度までに達成すべき目標値を定める

- **平成30年度末** 国及び関東地域の計画の目標年度
- **平成32年度末** 東京2020オリンピック・パラリンピック開催年度

目標値

対 象 品 目		平成30年度	平成32年度	
◎ 建設廃棄物		97% 99%	98% 99%	
○	アスファルト・コンクリート塊	99%以上 99%以上	99%以上 99%以上	
	コンクリート塊	99%以上 99%以上	99%以上 99%以上	
	建設発生木材	99%以上 99%以上	99%以上 99%以上	
	建設泥土	95% 97%	96% 98%	
	建設混合廃棄物	排出率	4.4%以下 1.0%未満	4.0%以下 1.0%未満
		再資源化・縮減率	82% 82%	83% 83%
◎ 建設発生土		86% 99%以上	88% 99%以上	
☆ 再生砕石 都発注工事)		95%	96%	

上段:都内工事 下段:都関連工事

戦略の策定

➤ 建設資源循環の実効性を確保するため、重点的に取り組む9つの戦略を策定

- 戦略その1 コンクリート塊等を活用する
- その2 建設発生木材を活用する
- その3 建設泥土を活用する
- その4 建設発生土を活用する
- その5 廃棄物を建設資材に活用する
- その6 建設グリーン調達を実施する
- その7 建築物等を長期使用する
- その8 戦略を支える基盤を構築する
- その9 島の建設リサイクルを推進する

戦略その1 コンクリート塊を活用する

戦略の背景と課題

背景

- コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、建設廃棄物の搬出量の2/3を占める
- 今後、コンクリート塊の搬出量増大の見込み
- 再資源化が進んでいる一方、再生砕石の滞留が顕在化

課題

- 建設資源循環の中心的施策としての取組が必要
- 再資源化にとどまらず再利用まで見据えた取組が必要

図ーコンクリート等の
循環利用イメージ



マンション等の
解体工事



コンクリート塊を再生
砕石として再資源化



道路工事の
路盤材等への再生利用

戦略その2 建設発生木材を活用する

戦略の背景と課題

背景

- 建設発生木材は、主に住宅などの建築物の解体等により発生

課題

- 建設リサイクル法に基づく、工事現場内における分別解体等の実施
- 分別した建設発生木材の再資源化等を着実に推進

図一 建設発生木材の循環利用イメージ



戦略その3 建設泥土を活用する

戦略の背景と課題

背景

- 今後、大規模工事により、発生量増大が懸念

課題

- 建設泥土の減量化と建設資材としての活用の推進
- 都内処理率の向上

図一 建設泥土再生品の建設資材としての活用イメージ



河川築堤



盛土、土地造成



裏込め、埋戻し

戦略その4 建設発生土を活用する

戦略の背景と課題

背景

- 都市化が進展し、建設発生土の受入地が不足
- 今後の大規模工事による建設発生土の増大の可能性

課題

- 掘削工事から発生する土砂を建設資材として活用
- 都内のみならず周辺県等と連携協力した受入地の確保

戦略その5 廃棄物を建設資材に活用する

戦略の背景と課題

背景

- 都民生活や産業活動などに伴い、一般廃棄物、上水スラッジ及び下水汚泥などが大量に発生
- 今後、都内に新たな最終処分場を確保することは極めて困難

課題

- 廃棄物処理等に伴い発生する副産物を建設資材として活用し、最終処分量を削減することが急務

戦略その6 建設グリーン調達を推進する

戦略の背景と課題

背景

- ▶ グリーン購入法において、地方公共団体においても環境物品等への需要転換に努めることとされた

課題

- ▶ 建設工事に使用する建設資材の選択の際に、グリーン購入法に基づく環境物品等の調達を推進

戦略その7 建築物等を長期使用する

戦略の背景と課題

背景

- ▶ 高度経済成長期やバブル経済期に整備された社会資本等が、今後一斉に更新時期を迎える

課題

- ▶ 更新時期を迎える建築物等について、予防的な補修・保全等の実施により長寿命化を促進

戦略その8 戦略を支える基盤を構築する

戦略の背景と課題

背景

- 建設リサイクルの継続的な推進が求められている

課題

- 関係者との連携強化等によるリサイクルを支える基盤づくり、リサイクルに関する技術開発・PRの促進が必要

戦略その9 島の建設リサイクルを推進する

戦略の背景と課題

背景

- 島民の生活条件の向上や産業振興が必要
- 今後も島内で積極的に社会資本の整備及び更新等を推進

課題

- 整備及び更新等に伴い発生する建設副産物について、島内はもとより島しょ地域全体を含め循環利用を推進